

第1章 令和2年度山口大学埋蔵文化財資料館の活動報告

当館は、昭和53年(1978)設置以降、山口大学構内が所在する遺跡の調査・研究を行うとともに、収蔵資料の展示・公開、また埋蔵文化財・考古学にかかわる社会教育活動を行っている。具体的には、展示・情報公開活動として、当館展示室において年度内に3回程度の資料展示を行うこと、刊行物やホームページなど各種メディアを通じて遺跡及び収蔵資料の情報を公開すること、社会教育活動としては、講座やワークショップの開催、授業や講演会等への講師派遣、公立博物館との連携事業の開催など、学内外の要望に応じた地域連携・生涯学習支援活動を実施することである。

新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は9月まで資料展示活動を行えなかった。10月に至り、本学の新型コロナウイルスに対する全学的な方針が示されたことから、一定の制限を設けて展示活動(令和2年度山口県大学ML(ミュージアム・ライブラリー)連携特別展)を再開することになった。しかし、年度末から開催が予定されていた山口大学学術資産継承事業成果展『宝山の一角』については、委員会での審議の結果、新型コロナウイルスの流行(第3波)への対策が重視されたことから、開催が見送られることとなった。

社会教育活動では、山口県立山口博物館との連携で継続的に実施している講座「古代ウォーク」を、山口市大内地区を対象に実施した。

当年度は、展示開催期間が10月～1月の4ヶ月に限定されたことや、入館に際して諸制限を設けたことなどが影響し、総入館者数はわずかに152名であった(表2)。前年度比で92.3%の減少、平成7年度に計測を開始して以降、2番目に入館者が少ない年度となった(表1)。

次頁より、当該年度に実施した展示・情報公開活動と社会教育活動の詳細を報告する。

表1 埋蔵文化財資料館利用者の推移

平成7	平成8	平成9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元	令和2
355	267	191	200	516	142	555	573	913	669	808	1,157	1,228	776	1,333	1,718	1,473	1,072	2,037	1,787	1,995	2,192	2,072	1,918	1,964	152

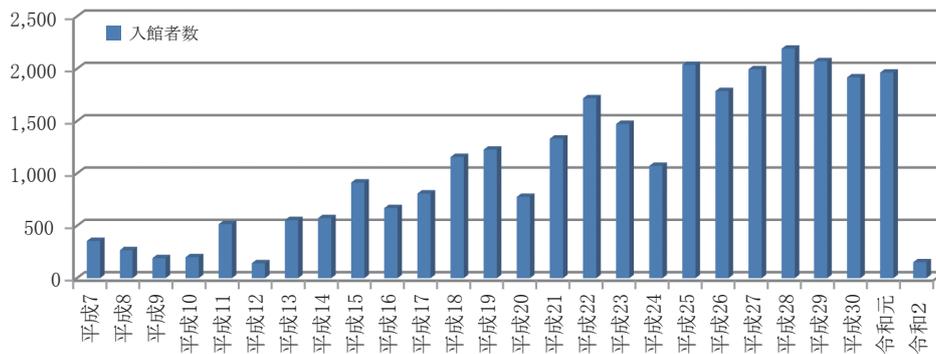


表2 令和2年度月別入館者数

入館者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入館者数	休館	休館	休館	休館	休館	休館	52	59	24	17	休館	休館

